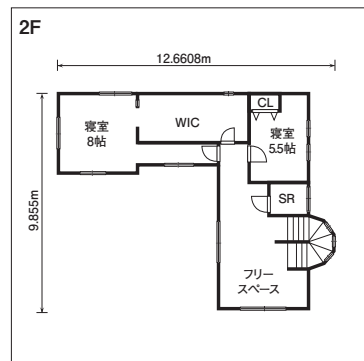
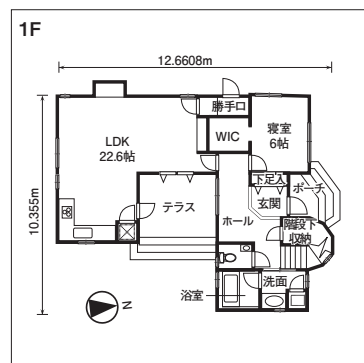




「まるでイギリスの田園風景みたい!」と思わず声をあげた、ハーフティンバースタイルの外観。外構には既存の石なども活用し、昔からそこに建っていたかのような佇まいを見せる。



玄関からは、テラスを通して視線がのびる。キッチンやテラスには天窗を設け、リビングの採光も確保。取り壊した蔵から見つけた古い家具や雑貨は、新居に飾られ、活用されている。日本の骨董とヨーロッパアンティーク、一見すると相容れない物に見えるが、「古い物の良さ」は各国共通のようだ。



新旧が混在する空間だが、違和感なく溶け込んでいるセンスはさすが。

建物価格 / 3,000万円台
 敷地面積 / 1348.85㎡ (408.7坪)
 延床面積 / 160.61㎡ (48.59坪)
 工法 / 木造在来軸組工法
 主な設備 / ●キッチン_洗面_オリジナル造作、
 ●バス_HITACHI、トイレ_INAX
 設計・施工 /
 (有)デリケートツール
 石川県金沢市不室町は133-1
 tel.076-236-1315
 http://www.deto.jp/

資料請求はハガキ・FAX・インターネットをご利用下さい
 資料請求番号 **39**
 詳しい活用方法はP240へ

H邸の家づくりMEMO

'11.3
入居

好きな雑貨や家具がイメージ通りに収まり、暮らしを心から楽しんでいる。側に川が流れ、風が通り抜けて、本当に気持ちいいとか。

'10.6
着工

プランニング

新築は、側に川が流れ、緑に囲まれる環境を活かし、風が通ることを優先。そのため、テラスは譲れなかったポイントの一つだった。

'09.12
ビルダー決定

ビルダー探し

ハウスメーカーの展示場もまわったが、合掌造りの家の改築に技術的・予算的に難色を示される。そんな時、雑誌でデリケートツールを知る。

'09
検討開始

老朽化した家だったが、和室を残し、2階建てから平屋への改築を希望。杉の木がぐるっと囲み、陽当たりが悪かった事も不満だったろう。

Welcome to our house!



古い物・素材の良さを活かした 年月が経っても色褪せない家

福井県あわら市 / Hさんのお宅

□設計・施工 / デリケートツール □家族構成 / 夫52歳、妻46歳、長女22歳



こだわった床の大理石はイタリア産。「テラスも一つの部屋として楽しみたい」との思いから床材を統一し、外への広がり感も感じられるように。家具やファブリック類に様々なニュアンスのある白を重ね、優しい雰囲気。

川や緑に囲まれながら、老朽化のため建て替えを余儀なくされた我が家。それでも、思い出が詰まった和室だけは残したくて、新築と改築とを願っているビルダーを探していました。けれど、古い家のためか「無理です」といわれたばかり。一方、新築の家は自然に囲まれた環境に似合い、かつずっと憧れていたナチュラルカンتریな雰囲気にしたかったです。

そんな時に見つけたデリケートツールは、施工例を見てもまさにイメージ通り。さらに、話をしていると「家が大好き、古いものが好き」という気持ちがあくまで伝わってきました。和室を残す話も「ぜひ」といつてくれて。実際、新築の我が家には苔が生えているような古い石や、ずっと蔵に眠っていた家具も再利用されています。アンティークの持つ雰囲気はもとより好きでしたが、この家で過ごしていると本当にのんびりできるんです。それはやっぱり、「本物」のカントリーハウスだからじゃないかな？ アンティーク加工を施したドアや丸太の梁、直輸入のドアノブ、イタリアの大理石を使った床、厚みのある漆喰壁。挙げ出すとキリがないけど、そういうパーツ一つをとっても妥協がないんですね。改築・新築と大変だった工事期間を忘れるほど、今は満足感でいっぱいなんです。